

昨年11月に三十五周年を迎えたアイアイイズでは1年をかけて、記念イベントを実施する。今年も時計業界の最新ニュースを、発信していく。<http://www.eye-eye-isuzu.co.jp/>

アイバンク支援自販機・

丸亀資源回収所を開設

(有)協同回収

総合リサイクル業者の(有)協同回収(三豊市高瀬町 柴田加子社長)は、資源回収事業所「Ecoとステーション丸亀」を12月11日開設した。

所在地は丸亀市土器町北一―三二。土器町三浦交差点から北へ300m、土器工業地帯にあるゴミ処理施設クリントピア丸亀の南西に立地する。

同ステーションでは、鉄などのリサイクルできる金属、電化製品(家電四品目除く)など資源品の買取・回収を行う。また古紙・衣類は無料で回収する。買取・回収品は同社の工場で分別・リサイクルされる。

電子レンジや石油ファンヒーター、扇風機などを粗大ゴミとして出せば、処分代がかかる。同ステーションを利用すれば、こうした処分にかかる経費を削減することができる。

営業時間は火曜～金曜が9時～17時(土日～12時)。月曜・祝日が定休。

なお、Ecoとステーション丸亀では、四国コカ・コーラボトリング(株)を通じて(公財)香川アイバンクへ売上の一部が寄付される自動販売機を設置している。12日には四国コカ・コーラ丸亀営業所の石田 悟所長、香川アイバンクの川部英則常務理事、柴田社長出席の下、開設式典を執り行った。

同自動販売機でコカ・コーラ製品を購入すると、収益の50%が香川アイバンクに寄付されるもの。アイバンクへの支援付き自動販売機の設置は県下で初となる。

アイバンクは死後に眼球を提供してもらい、角膜移植待機患者に回転する公的機関。香川アイバンクは角膜移植とアイバンクの啓発、普及のために昭和44年に設立された公益財団法人である。

協同回収は平成12年設立の総合リサイクル業者。県下で二工場、リサイクル店「エコリッチ」四店、資源回収所「Ecoとステーション」を丸亀を含め八カ所を展開する。

同社は障がい者雇用優良事業所認定を受けており、従業員56名のうち障がい者16名を雇用している。

今回のアイバンク支援自販機は、社会貢献の一環として設置したもので、アイバンクの認知度向上に期待がかかる。<http://9410.co.jp/>